面　談　記　録

担当課　　国保健康課

件　　名	医療法人社団 葵会との面談について
日　　時	令和元年５月 29 日（水）午前 11 時～11 時 27 分
場　　所	市役所５階　第３会議室
相手方出席者	医療法人社団葵会　明石第一企画部長、小宮企画部長
市側出席者	福祉部：須藤部長　国保健康課：廣末課長、西海副主幹
記　録　者	国保健康課　西海　　令和元年５月 29 日作成
面談内容	市　側：都市計画手続きの関係から、今現在で約６箇月程度のスケジュールの遅れが生じており、今後の手続きの状況によってはさらに延びる可能性がある。 　また、病床の関係では、2020 年の中間見直しで不足が出る可能性があり、実際にはその時にならなければわからないが、まずはスケジュールが確定した時点で速やかに連絡する。 相手方：了解した。スケジュールが確定した段階で理事長に報告する。ところで、うわまち病院が病床返上すると聞いたが返上するのか？ 市　側：まだ先の話のようであり、完成は 2025 年と聞いている。スケジュールや病床の話も、まだ想定の部分が多い状況にある。 相手方：了解した。 市　側：七沢リハビリテーション病院の運営は順調か？ 相手方：医師や看護師は、法定の配置人数を確保できている。病床も一般病床の回復期リハビリテーション病棟として 245 床が稼働している。理学療法士等は、患者数に応じて増やしていく予定である。 市　側：川崎の医療ツーリズムの件はいかがか？ 相手方：３箇月ほど前に川崎市に対して再検討の文書を提出している。県及び川崎市において検討会並びにワーキンググループを設置し、医療ツーリズムについて検討を行っているので、計画を一時的に保留し、その内容を見て検討する。 市　側：ＡＯＩ国際病院の状況はいかがか？ 相手方：４月から東京医科歯科大学の教授が来てくれて不整脈センターを設置した。整形外科の関係では人工関節センターを設置し、手術からリハビリまですべて診る体制が整った。他には、脳卒中センターを作っている最中である。それぞれの担当の医師には、逗子のこと

面　談　記　録

担当課　　国保健康課

	も話してある。また、救急については毎月 200 件を超える受入れがあり、300 件を超えることもあった。 市　側：毎年行っている市の「逗子のまちづくりに関するアンケート調査」でも医療施設が整っていないことを不便または不満に感じるという回答が最も多くなっている。引き続きよろしくお願いする。 以　上